

部落差別解消推進法案の廃案・年金制度の改悪に反対 カジノを解禁する「総合型リゾート(IR)推進法案」の廃案など

重大な3つの意見書を国に提出しました

意見書	件名	★意見書提出者と◇賛同議員	結果	反対者
第8号	部落差別解消推進法案の廃案を求める意見書(案)	★くつざわ ◇岩田・植井・斎藤・仲井	採択	植原
第9号	年金制度の改悪に反対する意見書(案)	★くつざわ ◇植原・植井・斎藤・仲井	採択	飯塚・伊藤・岩田
第10号	カジノを解禁する「総合型リゾート(IR)推進法案」の廃案を求める意見書(案)	★新井 ◇斎藤・仲井・植原・植井・高橋(正)・岩田	採択	猪岡

新 上 里

No.216

2016年度
12月
議会だより

発行
日本共産党
上里町議員
生活相談は下記へ
くつざわ幸子
34-0644

※敬称略

12月定例議会は5日から9日まで開催されました。町長提案議案は、町職員

の給与及び町長はじめ三役と議員の報酬等に関する条例、介護保険法に基づく条例の一部改正など9件、上里町農業委員会の委員及び上里町農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定、図書館の指定管理について、平成28年度補正予算の3件でした。

賛成多数で

いずれも採択!

12月議会は、5日間という短い会期でしたが、国会が同時並行で十分な審議もないままに次々に国民にとって重要な法案を強行採決する中での開会でした。

こうした中で、部落差別永久法、年金削減法、カジノ解禁法に反対する三つの意見書を準備し、各議員に賛同をお願いしたところ、



部落差別解消推進法案の廃案を求める意見書(案)

「部落差別解消の推進に関する法律案」(以下「法案」という)が今国会での成立の動きを見せています。

部落差別問題については、2002年3月末をもって「同和」にかかわる特別立法は失効しました。特別対策を終了し一般対策に移行する主な理由として(1)特別対策は本来時限的なもの。これまでの事業の実施によって同和地区を取り巻く状況は大きく変化しました。(2)特別対策をなお続けていくことは、差別解消に必ずしも有効ではない。(3)人口移動が激しい状況の中で、同和地区・同和関係者に対象を限定した施策を続けることは事務上困難。というものでした。

法案は、「部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする」としていますが、部落差別の定義もありません。

また、基本理念を「部落差別を解消する必要性に対する国民一人一人の理解を深めるよう努めること」とし、国と地方公共団体の責務として「相談体制の充実」「部落差別を解消するための教育及び啓発」「地域の実情に応じた施策」「部落差別の実態に係わる調査」などに努めるとなっており、「同和行政」や部落差別問題に特化した人権教育・啓発が復活され、部落差別の固定化・永久化につながる重大な問題です。

今日的現状に照らせば、法案は、部落問題解決の到達点と解決の歴史に逆行し問題解決の妨げとなり、個人情報保護の観点からも問題です。

よって、「部落差別解消の推進に関する法律案」を廃案とするよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

多くの議員の賛同を得て、意見書(案)を提出することが出来た。その結果、上記の通り賛成多数でいずれも採択し、意見書を提出することが出来ました。紙面の都合により、意見書第8号のみ掲載します。



町立図書館の指定管理委託 共産党は反対

平成26年4月から指定管理となっていた町立図書館が3年の契約期間を迎えるため、新たに公募した団体を評価した結果、株式会社図書館流通センターに平成28年度対し、公募申請は前回より5割増し、町立図書館の維持に必要と認められた。町立図書館の指定管理に反対し、町立図書館の指定管理を町立図書館に委託する必要があると反対しましたが、賛成多数で委託が決まりました。

不安や経費の増額も懸念されま

共産党のくつざわ幸子は、町の知的財産であり専門知識を要する図書館は町営で継続的な運営が必要と

反対しましたが、賛成多数で委託が決まりました。

くつさわ 「既存の公園も 使いやすいように見直しを！」

町長 「皆さんの期待に応えるよう 相談したい」

くつさわ幸子の一般質問

12月議会では、(一)魅力ある公園と健康づくりについて、(二)貧困対策についての質問しました。

以前から、忍保パブリック公園利用者から、夏場の草対策等について聞いていました。上里町が実施している「町民アンケート」でも、公園に対する満足度は常に大変低い状況です。

その大きな要因は、家族で1日のんびり出来るような魅力的な公園が無いことや既存の公園の管理が行き届かないことなどがあります。忍保パブリック公園内のターゲットボードゴルフ場は、利用者の努力できれいに使用しています。しかし、日々管理しやすい状態まで整備するなどの大きな仕事は町の役割だと思っています。

玉村町の町営グラウンドゴルフ場を見ましたが、シルバー人材センターが管理していて、毎日70人程の利用者がいるそうです。

上里でも、烏川・神流川総合公園(上里IC付近)整備として、常設のターゲットボードやグラウンドゴルフ場などの整備を提案しました。(二)の貧困対策は、丁寧な実態把握を早急に行うことを求めました。



魅力ある公園と健康づくりについて

「くつさわ」上里町健康づくり推進総合計画の基本目標の一つ「日頃から楽しく身体を動かそう」をめざし、2025年の高齢者人口30%を見据え、高齢者が気軽にスポーツを楽しめる環境として何を重視していきますか。

「町長」運動習慣をつくるための神保原南街区公園1号の整備など、場所の確保や、既存の施設を有効活用するなど、ソフトとハード

の両面から町民が活動できるような支援をした



「くつさわ」

忍保パブリック公園内には、グラウンドゴルフ場やターゲットボードゴルフ場があります。しかし、グラウンドゴルフ利用者は野球場を使用しています。理由は、グラウンドゴルフ場の芝生の状態が悪く、傾斜しているために使いにくいからようです。また、木製遊具の公園は、草におおわれ

ていて遊べずに帰っていき姿もあるようです。芝生の張替えや、遊具の付近にミニ駐車スペースを整備するなど、既存の公園についても地域の方や利用者の意見を取り入れて見直してはどうでしょうか。

「町長」皆さんの期待に応えるよう、今後相談していきたい。芝生の張替え等も何年に1回など状況を見ながら利用団体と相談し管理を考えていきたい。

遊具を利用される方の駐車場についても、総合的な管理も必要なので、早急に検討したい。

「くつさわ」烏川・神流川総合公園は「スマートインターチェンジ開通後の利用や農村公園の整備状況などを踏まえながら、国と協議したい」と言うことでした。

計画も動き出した今こそ町民の憩いの場として整備し、近隣や遠方からも足を運んでもらえる魅力ある場所にしていく時です。高崎河川国道事務所との話し合いは開始しましたか。

「町長」総合公園施設を整備できれば、町民の健康・体力づくりにも寄与でき、町外からの観光客の増加も期待できます。

高崎河川国道事務所へ相談しましたが、国による整備や国庫補助制度は、現状ないとのことでした。

今後は河川管理者やインター周辺事業者などの関係機関との意見交換会や実現化対策などの勉強会を立ち上げて検討したい。

「くつさわ」農村公園内の農産物直売所が完成した場合、現在の直売所を「閉鎖せず」に存続してほしい等の声が多数あります。町として埼玉ひびきの農業協同組合に対し存続を要望していただきたい。

「町長」私も二つあった方がいいと思います、お話をさせていたいただいた経緯もありますが、農協も色々意見を聞いたりうえでの結論なので、いまさらとは思いますが、話させていたいただきたい。

貧困対策について

「くつさわ」国は、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る、

子どもの貧困対策は極めて重要と、約40項目の重点政策を示し、子どもの貧困解消に向けた交付金も設けています。

県内では富士見市が、「子どもの貧困対策整備計画策定」に取り組んでいます。町も「貧困対策支援計画」の策定に向け実態を把握すること。また、各学校の子どもの貧困状況の実態把握と必要対策について伺います。

「町長」貧困と感じている家庭がどのような支援を期待し、どうすれば夢を持てるのか、把握していくことは重要だと考えています。広く子育て世代全般のニーズが把握できるような調査を検討し、地域子どもの未来支援交付金の活用と合わせ検討したい。

「教育長」学校における貧困の実態把握は、給食の食べ方、服装や出席状況の変化、支払い状況等の日常生活から個別かつ客観的に把握しています。町と連携しながら実施

調査をする場合には一体となつてやっつけていき

たい。

